

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公開番号】特開2012-90976(P2012-90976A)

【公開日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2011-217550(P2011-217550)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月26日(2014.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検者眼を観察、または撮影するための撮影部を有する眼科装置において、  
被検者眼の観察、又は撮影画像を表示するためのモニタであって、タッチパネルが設け  
られているモニタと、  
該タッチパネル上での所定のジェスチャ操作による入力情報に基づき前記モニタの表示  
制御を行う表示制御手段と、  
を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項2】

請求項1の眼科装置において、

前記タッチパネル上には前記ジェスチャ操作による入力を受け付ける第1入力領域と、  
該第1入力領域の周囲に隣接して設けられ前記ジェスチャ操作による入力を受け付けない  
第2入力領域とが設けられ、前記表示制御手段は所定の処理を実行させるための操作ボタ  
ンを前記第2入力領域に対応する前記モニタ上に形成することを特徴とする眼科装置。

【請求項3】

請求項2の眼科装置において、

前記表示制御手段は前記撮影部にて撮影された被検者眼の画像を前記第1入力領域に対  
応する前記モニタ上に表示させることを特徴とする眼科装置。

【請求項4】

請求項3の眼科装置において、

前記撮影部で撮影された画像が前記第1入力領域に対応する前記モニタ上に表示されて  
いるときに、前記表示制御手段は、該第1入力領域上で行われたジェスチャ操作の位置に  
対応する前記モニタ上の前記画像の局部領域を拡大又は縮小表示させることを特徴とする  
眼科装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1項の眼科装置において、

前記ジェスチャ操作による入力情報に基づいて前記撮影部を駆動させるための制御手段  
を有することを特徴とする眼科装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 被検者眼を観察、または撮影するための撮影部を有する眼科装置において、被検者眼の観察、又は撮影画像を表示するためのモニタであって、タッチパネルが設けられているモニタと、該タッチパネル上での所定のジェスチャ操作による入力情報に基づき前記モニタの表示制御を行う表示制御手段と、を備えることを特徴とする。\_\_\_\_\_